

次号予告

特集 研究開発マネジメント

- 研究開発マネジメントの新しい枠組み
……………平澤 洽(東京大学)
- 神戸製鋼所における技術開発戦略
……………森脇亜人(神戸製鋼所)
- トヨタ自動車㈱における研究開発関連組織間の
連携システム……………服部秀雄(トヨタ自動車)
- R&D活動を支援する情報システム
……………岡本暉公彦(花王)
- 内在型研究開発マネジメントシステム
……………桑原 裕(日立製作所)
- グローバル研究開発マネジメント
……………丸毛一彰(科学技術と経済の会)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- | | | |
|------|-------|--------------------|
| 委員長 | 高森 寛 | 青山学院大学 |
| 副委員長 | 高井 英造 | 三菱石油㈱ |
| 委員 | 相沢りえ子 | ㈱構造計画研究所 |
| | 上野 哲郎 | 和光大学 |
| | 大村 雄史 | 住友商事㈱ |
| | 片山 隆仁 | 防衛庁 |
| | 川合 庸一 | 川合産業研究事務所 |
| | 木嶋 恭一 | 東京工業大学 |
| | 新村 秀一 | 住商コンピューターサー
ビス㈱ |
| | 町原 文明 | 日本電信電話㈱ |
| | 宮田 雅智 | 青山学院女子短期大学 |
| | 矢部 博 | 東京理科大学 |

編集後記 ●今回は茅教授のご尽力により環境問題に関して多彩な特集となった ●ローマクラブの警告から20年間、それはますます現実となってきた。人間の技術と知恵(測定・分析・防止の技術はもとよりそれらを実行させる管理技術もしくは政治・経済・社会システム)は環境破壊に勝利できるか。石谷氏の論文によれば、特に発展途上国にデータをはじめとして多くの問題がある。フロンガス問題のように関係国間(先進国間)で認識が一致し速やかに対応ができるものもある。環境はボーダーレスであるため西岡氏の報告のように国際的にコンセンサスを得ることがきわめて重要である。手遅れにならないことを願いたい ●防止の経済システムとして山地氏によって課徴金や補助金のシステムの考え方とCO₂についての具体例が報告されている。これは特に関連企業人に参考になるであろう。SO₂防止技術の展開でみせた日本の企業や行政の対応力に期待するところは大きい。これは国内だけではすまないだけに特に国際政治面

でのウエイトが大きいという困難さが加わる ●過日あるセミナーで地球の適正人口について言及された。そこでは「今の中国の生活レベルでは100億人、日本レベルでは20億人、米国レベルでは10億人」ということになった。これはその前提条件からその結論の意味するところまで、本特集の竹内氏の論文を読み合わせて実に考えさせられるところが多かった。竹内氏が論じるところ生活レベルの後もどりは難しい。一方昨今の情報化の進んだ世界においては多数の生活水準の低い国の人々がいつまでもそこにとどまっておれない。地球上の人間に等しく「人間らしい生活」を保障するには道はおのずから限られてくる ●自国の管理能力を失っている発展途上国の悲劇的な状況が熊崎氏の論文で詳しく論じられている。ボーダーレスの時代に他国の管理システムに内政干渉でなく関われるのは理論と実証である。ORは最適化理論と実証を本分とする。

(川合庸一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成3年5月号 第36巻 第5号 通巻365号

代表者 岡 久雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代)FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円、郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3583-2241)へ